

## 地对艦ミサイルの射程が「約 100km」？

新川在住 笹尾哲夫 2016年2月7日 FB 投稿

自衛隊配備を推進している人たちの「石垣島への自衛隊配備の魅力」というパンフレットがあります。その中に「誘導弾の射程 約 100km」という、石垣島を中心に半径 100km の赤い円を描いた地図があります。この図の下に、「地对艦・地对空誘導弾部隊は、他国を攻撃する部隊ではありません。他国から攻撃された場合、他国から八重山を防衛するための誘導弾です。」と書いてあります。



産経ニュース 東京 9°C 関西 RONNA フォト

ホーム スポーツ エンタメ ライフ 地方 GQ WIRE

速報 事件 政治 国際 経済 コラム 特集 写真 ランキング

政局 政策 地方自治 選挙

【囲碁】2月の次の一手問題に挑戦！ [PR]

2014.6.15 06:30 文字の大きさ 小 中 大 印刷

### 陸自、新型地对艦ミサイルを熊本に集中配備 南西防衛を強化

ツイート おすすめ 1 G+ 2 (2/2ページ)

昨年11月の離島奪還を想定した自衛隊の統合演習では、陸自の「88式地对艦誘導弾」部隊が宮古島に展開した。演習で同部隊が沖縄周辺の離島に展開したのは初めてだった。

◇

**地对艦誘導弾 (SSM)** 沿岸防衛用のミサイルで、地上から発射され洋上に出てからも低空で飛行する。陸上自衛隊の現在の主力である88式SSMは射程約150キロ。後継の12式は射程が約200キロまで伸び、命中精度も向上している。

この円は、尖閣諸島には全く届いていません。だから、これを見た人は、石垣島を襲ってくる他国の船しか撃てない兵器だと思うでしょう。本当にそうなら、基地がミサイル攻撃される危険も少ないでしょう。

ところが、産経新聞の2014年6月15日付の記事には、陸上自衛隊が南西防衛のため配備する最新の「12式地对艦誘導弾」は、「射程が約200kmまで伸び、命中精度も向上している」とはっきり書いてあります

(<http://www.sankei.com/politics/news/140615/pl1406150005-n1.html>)。

射程が約200kmのミサイル(誘導弾)を置けば、約170km先の尖閣諸島周辺の艦隊も狙える攻撃用基地になります。相手から見れば、有事には真っ先につぶさなければならない基地です。石垣島を占領する気なんかさらさらなくても、です。

2013年11月の「離島防衛、離島奪還」の自衛隊統合演習のときには、石垣市の中山市長が、「地对艦ミサイルは相手を攻撃する状況になる」として受け入れを断りました(<http://www.y-mainichi.co.jp/news/23606/>)。

その頃は、「12式」の世代前のミサイルの時代だったのですが、それでも、「射程は百数十キロメートルとされ、石垣島に展開すれば尖閣諸島周辺海域も射程

に収める。尖閣周辺で挑発活動を強める中国を牽制する狙いがあるとみられる。」と書かれていたのです（2013年10月22日付の産経新聞記事「演習で石垣島に地対艦ミサイル」<http://www.sankei.com/politics/news/131022/plt1310220005-n1.html>）。

パンフは、豊富な図や数字を使っただけかにも手慣れた作りで、防衛省関係者が関わった可能性もあります。しかし、「約100km」は、防衛省の言っていることとは違います。国会で「地対艦ミサイルの射程はどれだけか」と質問されたとき、防衛省の整備計画局長は、「手のうちをさらす」面もあるから詳細は控えるとしながら、「百キロメートル以上ということでご理解いただければ」と答え、「尖閣諸島周辺も射程に収めることになるのか」という問いには、肯定も否定もしていないのです（平成28年1月13日衆議院安全保障委員会、「国会会議録検索システム」でご覧ください）。

誰が作ったにしても、いいかげんな数字や図でごまかし、住民を安心させて、配備容認に誘導しようというのでしょうか？